



福井労働局発表  
平成25年4月23日

担 当	福井労働局労働基準部監督課
	監督課長 江口 勇次
	専門監督官 高橋 昌哉
	電 話 (0776) 22 - 2652

## 福井県における平成25年ゴールデンウィーク期間中における 連続休暇の実施予定状況調査

「連続した」連続休暇の平均日数は5.2日、最高10日

福井労働局（局長 谷藤 仁）は、福井県下の主要53社を対象に、本年のゴールデンウィーク期間中の連続休暇実施予定状況について調査を行い、その結果を取りまとめた。

ゴールデンウィークの時期は、国民の祝日が集中していることや気候に恵まれていること等、連続休暇を取得するうえで最も適した時期のひとつであると考えられる。

福井労働局では、仕事と生活の調和の実現を図る観点から、年次有給休暇の計画的付与制度の活用や、特別休暇の設定による連続休暇の実施を呼びかけているところである。

本調査は、連続休暇の更なる普及促進を図ることを目的として実施したものである。

### 1 調査対象

福井県下にある労働者数30人以上の規模の製造業28社、非製造業25社、合計53社を抽出し、通信調査を行った。

### 2 ゴールデンウィークにおける連続休暇の定義

本調査における「連続休暇」とは、調査対象期間中（平成25年4月16日～同年5月15日までの30日間）の週休日（土曜・日曜日など）特別休日（国民の祝日・会社の特別休暇など）年次有給休暇の計画的付与による休暇や、これらの組み合わせによる3日以上の連続した休日・休暇を指すものとした。

なお、生産調整等の使用者の責による休業は、休日・休暇として取り扱わず、休業と休日・休暇が引き続き3日間連続しても、連続休暇としては計上しないものとした。

連続休暇は、休日・休暇が連続する場合と、出勤のため一時中断した連続しない場合の2つの場合があり、以下の方法により集計した。

連続する場合	出出出休休休休休休出出出	「通算した」連続休暇日数、「連続した」連続休暇日数とも7日とカウント
連続しない場合	出出休休休出出休休休休出出	「通算した」連続休暇日数は7日(3+4)とカウント、「連続した」連続休暇日数としては4日(長い方の日数)をカウント。

(注) 出は出勤を、休は休日・休暇を示す。

### 3 調査結果の概要

#### (1) 連続休暇予定事業場は96.2%

調査対象とした53社のうち、2社は調査期間中の一斉休暇取得を予定していないが、それ以外の51社がゴールデンウィーク期間中の連続休暇の実施を予定している。

#### (2) 「通算した」連続休暇の平均日数は7.0日、最も長い「通算した」連続休暇は10日(表1参照：一斉に休暇を取得しないとする企業はカウントせず。)

「通算した」連続休暇の平均日数は7.0日(昨年7.0日)となっており、昨年と同じであった。

その内訳は、製造業が7.5日(昨年7.7日)、非製造業が6.3日(昨年6.3日)となっている。

また、「通算した」7日以上連続休暇の実施を予定しているのは41社(昨年39社)となっている。

なお、最も長い「通算した」連続休暇日数は10日(昨年12日)で、製造業の2社が実施を予定している。

#### (3) 「連続した」連続休暇の平均日数は5.2日、最も長い「連続した」連続休暇は10日(表2参照：一斉に休暇を取得しないとする企業はカウントせず)

「連続した」連続休暇日数の平均は5.2日(昨年5.4日)となっており、昨年を0.2日下回った。

その内訳は、製造業が6.2日(昨年6.7日)、非製造業が4.1日(昨年4.2日)となっている。

また、「連続した」7日以上連続休暇の実施を予定しているのは11社(昨年15社)となっている。

なお、最も長い「連続した」連続休暇日数は10日(昨年10日)で、製造業の2社が実施を予定している。

#### (4) 本年のゴールデンウィークにおける連続休暇の特徴

本年は4月27日～4月29日及び5月3日～6日の2つ期間において、それ

ぞれ週休日及び国民の祝日が3日間及び4日間の連続の休暇となっており、4月30日と5月1日及び5月2日の3日間の扱いにより「連続した」連続休暇が4日となる企業と4日以上となる企業に大きく2分される傾向となった。

また、7日以上「連続した」連続休暇となるのは11社全てが製造業となっており、製造業では暦に合わせて連続休暇とする傾向が見られた。